

## 第2次宍粟市総合計画前期基本計画 1年期間延長資料（まちづくり指標）

当日配布資料①

### 1. 目標達成に向かって継続中であるもの

① 1年間に〇%、〇件など増加させる数値が固定されているもの	16件
② 1年間に〇ずつなどではなく、現状の〇%など数値を固定するもの、または、現状維持、〇〇より増加・減少などとするもの	27件
③ 国や県が示す目標値を準用しているもの	5件
④ 本市における個別計画の目標値と同じ値とすべきもの（個別計画が改定されているため修正すべきものも含む）	13件

### 2. すでに目標値を達成しているもの・現段階で目標値を一時的に達成しているもの

⑤ 【目標達成済】 1年間に〇%、〇件など増加させる数値が固定されているもの	5件
⑥ 【目標達成済】 1年間に〇ずつなどではなく、〇%・現状値より増加などと設定しているもの	10件
⑦ 【現時点目標達成】 目標は達成しているが一時的な達成等であるため、目標値を現行どおり、または策定当初の考え方により数値変更としたもの	6件

### ① 1年間に〇%、〇件など増加させる数値が固定されているもの

←————— 計画策定当初策定 (H27) —————→      ←————— 今回設定 —————→

基本施策	No.	指標名	単位	策定 現状値	目標値		数値の出所（算出 方法）	実績値				目標値 (延長)		所管課
				H26	H32	H37		H28	H29	H30	R1	R3	R8	
1. 農業 の振興	1	認定農業者数 【累計】	人	27	33	38	担当課保有の管理 台帳	27	28	30	29	34	39	農業振興課
		【目標値の考え方】 「人・農地プラン」の推進により、地域の中心的担い手の育成に取り組み、平成26年度現状値を基準に、営農組織の中から1年あたり1人の認定農業者の増加を目標とする。							【目標値（延長）の考え方】 同左					
1. 農業 の振興	2	集落営農組織数 【累計】	組織	60	66	71	「兵庫県管内農業 集落調査」及び担 当課保有の管理台 帳	60	60	61	63	67	72	農業振興課
		【目標値の考え方】 「人・農地プラン」の推進により、地域の中心的担い手の育成に取り組み、平成26年度現状値を基準に、1年あたり1組織の増加を目標とする。							【目標値（延長）の考え方】 同左					

## 第2次宍粟市総合計画前期基本計画 1年期間延長資料（まちづくり指標）



← 計画策定当初策定（H27） →      ← 今回設定 →

基本施策	No.	指標名	単位	策定 現状値	目標値		数値の出所（算出 方法）	実績値				目標値 （延長）		所管課
				H26	H32	H37		H28	H29	H30	R1	R3	R8	
2. 林業 の振興	5	林業担い手人数 【累計】	人	163 (H25)	183	199	「兵庫県林業統計書」※公表は翌々年度以降	162	168	164	161	186	202	林業振興課
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】					
		林業の担い手確保は、集約化による森林整備を促進するうえで計画的に継続していく必要があり、平成26年度現状値を基準に1年あたり2%の増加を目標とする。							同左					
2. 林業 の振興	6	素材生産量	m <sup>3</sup> /年	80,203 (H25)	104,000	124,000	「兵庫県林業統計書」※公表は翌々年度以降	87,989	127,118	84,079	78,627	108,000	128,000	林業振興課
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】					
		市の森林の成長量は年間25万m <sup>3</sup> で、宍粟材の利活用と一体となった生産に取り組む必要があり、平成26年度現状値を基準に1年あたり5%の増加を目標とする。							同左					
4. 観光 の振興	11	観光入込客数 【延べ】	千人/年	1,217	1,400	1,600	「兵庫県観光客動態調査」	1,165	1,061	1,053	979	1,440	1,640	まち・にぎ わい課
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】					
		1年あたり4万人（5年で20万人）の増加を目標とする。							同左					
4. 観光 の振興	12	道の駅利用者数 【延べ】	千人/年	434	490	560	それぞれの道の駅からの年間事業報告	441	412	437	422	504	574	まち・にぎ わい課
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】					
		「観光入込客数」の目標値に対し、その35%の割合を設定							同左					

## 第2次宍粟市総合計画前期基本計画 1年期間延長資料（まちづくり指標）



← 計画策定当初策定 (H27) →      ← 今回設定 →

基本施策	No.	指標名	単位	策定 現状値	目標値		数値の出所（算出 方法）	実績値				目標値 （延長）		所管課
				H26	H32	H37		H28	H29	H30	R1	R3	R8	
5. 生活 景観の保 全	13	クリーン作戦等 の参加世帯割合	%/年	69.9	76	81	クリーン作戦等 を実施する団体等か ら提出される参加 世帯÷年度当初の 世帯数	61.6	75.5	68.5	67.7	77	82	環境課
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】					
		現状値を基準に、1年あたり1%の増加を目標とする。							同左					
8. 上下 水道の整 備	18	水道の有収率	%/年	85.2	85.8	86.3	年間総有収水量÷ 年間総配水量	85.8	85.5	85.5	85.1	85.9	86.4	水道管理課
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】					
		宍粟市は面積が広く管路延長が非常に長いことから給水効率が非効率であるため、今後も大幅な上昇は困難であるが、普及啓発に努めることにより、1年あたり0.1%増を目標とする。							同左					
10. 自然 環境の保 全	23	広葉樹転換面積	ha/年	8	10.4	12.4	県民緑税を活用し、 針葉樹林と広葉樹林の 混交林整備事業を実施した 面積	-	9.23	8.1	0.0	10.8	12.8	林業振興課
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】					
		高齢人工林の整備は今後も継続して実施していく必要があるが、長期にわたる木材価格の低迷の中でもあり、1年あたり0.4%の増加を目標とする。							同左					
16. 子育て 支援の推 進	41	ファミリーサ ポートセンター 会員数	人/年	230	257	280	年度末の登録会員 数	242	241	240	243	262	285	社会福祉課
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】					
		引き続き保護者等を対象に会員の登録を推進することで、現状値を基準に1年間あたりの増加率を2%に設定							同左					

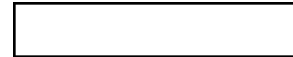
## 第2次宍粟市総合計画前期基本計画 1年期間延長資料（まちづくり指標）



← 計画策定当初策定（H27） →      ← 今回設定 →

基本施策	No.	指標名	単位	策定 現状値	目標値		数値の出所（算出 方法）	実績値				目標値 （延長）		所管課
				H26	H32	H37		H28	H29	H30	R1	R3	R8	
21. 医療 体制の充 実	57	患者逆紹介率	%/年	65.3	70	75	逆紹介患者数÷初 診患者数	44.9	46.8	48.5	48.0	50	55	総合病院
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】					
		市内唯一の総合病院として、各医療機関と連携をとりながら、機能を分担し地域完結型医療を目指すこととし、概ね1年に1%の向上を目標とする。							同左					
22. 高齢 者福祉の 充実	64	認知症サポ ーター登録者数	人/年	—	100	100	担当課保有の管理 台帳	76	76	50	65	100	100	福祉相談課
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】					
		認知症サポーター養成講座を1年あたり10回を目標に開催することとし、受講者の中から毎年100人程度を目標にサポーター登録へと結びつけ、認知症への理解と支援の取組みを充実させていく。							同左					
24. 地域 福祉の充 実	69	ボランティア活 動実施人数（ボ ランティア災害 共済加入者数）	人/年	1,826	1,940	2,040	社会福祉協議会事 業報告	1,844	1,793	1,900	1,817	1,960	2,060	社会福祉課
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】					
		ボランティア活動者が高齢化している状況の中、今後は大きな増加は困難と考えるが、関係機関と連携した取組みにより1年あたり20人の増加を目標とする。							同左					
26. 文 化・芸術 活動の推 進	74	文化芸術施設入 場者数【延べ】	人/年	107,120	107,700	108,200	山崎文化会館、宍 粟市歴史資料館、 波賀城史蹟公園、 たたらの里学習館 の入場者数	98,910	90,040	96,611	86,898	107,800	108,300	社会教育文 化財課
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】					
		現状値を基準に、1年あたり100人の増加を目標とする。							同左					

## 第2次宍粟市総合計画前期基本計画 1年期間延長資料（まちづくり指標）



← 計画策定当初策定 (H27) →      ← 今回設定 →

基本施策	No.	指標名	単位	策定 現状値	目標値		数値の出所（算出 方法）	実績値				目標値 (延長)		所管課
				H26	H32	H37		H28	H29	H30	R1	R3	R8	
26. 文化・芸術活動の推進	75	指定文化財件数【累計】	件	113	119	124	担当課保有の管理台帳	113	113	115	115	120	125	社会教育文化財課
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】					
		現状値を基準に、1年あたり1件の指定を目標とする。							同左					
26. 文化・芸術活動の推進	76	外国人との交流イベント参加者数【延べ】	人/年	718	790	860	お茶ットルーム参加者数（延べ）と国際ふれあいまつり参加者数の合計	716	324	612	483	804	876	市民協働課
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】					
		現在の取組みを強化し、現状値を基準に10年間で20%の増加を目標とする。							同左					

**② 1年間に〇ずつなどではなく、現状の〇%など数値を固定するもの、または、現状維持、〇〇より増加・減少などとするもの**

← 計画策定当初策定 (H27) →      ← 今回設定 →

基本施策	No.	指標名	単位	策定 現状値	目標値		数値の出所（算出 方法）	実績値				目標値 (延長)		所管課
				H26	H32	H37		H28	H29	H30	R1	R3	R8	
1. 農業の振興	3	農林業被害額	千円/年	16,828	8,000	8,000	兵庫県調査「野生動物による農林業被害集計表」※公表は翌年度の8月以降	12,704	11,038	8,508	11,292	8,000	8,000	農業振興課
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】					
		過去3年の平均被害額を基準に、H32の目標を平均被害額の半分に設定し、その後は目標値を維持していく。							同左					

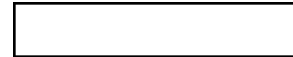
## 第2次大栗市総合計画前期基本計画 1年期間延長資料（まちづくり指標）



← 計画策定当初策定 (H27) →      ← 今回設定 →

基本施策	No.	指標名	単位	策定 現状値	目標値		数値の出所（算出 方法）	実績値				目標値 （延長）		所管課
				H26	H32	H37		H28	H29	H30	R1	R3	R8	
3. 商工業の振興	7	製造品出荷額等 （4人以上の事業所）	億円/年	637.4 (H25)	現状値を維持	現状値を維持	「工業統計調査」 （経済センサス活動調査の前年以外は、毎年実施）※公表は翌々年度以降	637.4	568.6	610.4	632.4	現状値を維持	現状値を維持	ひと・はたらく課
				【目標値の考え方】				【目標値（延長）の考え方】						
				景気低迷、少子高齢化に伴う労働人口の減少の中で増額を見込むことは難しい状況であるが、各施策の取組みにより、現状値の維持を目標とする。				同左						
3. 商工業の振興	8	商品販売額	億円/年	412.3 (H24)	現状値を維持	現状値を維持	「商業統計調査」 または「経済センサス活動調査」 （平成28年（経）、令和3年（経）実施予定）※公表は翌々年度以降	474.3	507.2	507.2	507.2	現状値を維持	現状値を維持	ひと・はたらく課
				【目標値の考え方】				【目標値（延長）の考え方】						
				景気低迷、少子高齢化に伴う労働人口の減少の中で増額を見込むことは難しい状況であるが、各施策の取組みにより、現状値の維持を目標とする。				同左						
3. 商工業の振興	9	従業者数（工業統計）	人/年	4,605 (H25)	現状値を維持	現状値を維持	「工業統計調査」 （経済センサス活動調査の前年以外は、毎年実施）※公表は翌々年度以降	4,358	4,114	3,333	3,238	現状値を維持	現状値を維持	ひと・はたらく課
				【目標値の考え方】				【目標値（延長）の考え方】						
				景気低迷、少子高齢化に伴う労働人口の減少の中で増額を見込むことは難しい状況であるが、各施策の取組みにより、現状値の維持を目標とする。				同左						

## 第2次宍粟市総合計画前期基本計画 1年期間延長資料（まちづくり指標）



← 計画策定当初策定 (H27) ————— | ————— 今回設定 ————— →

基本施策	No.	指標名	単位	策定 現状値	目標値		数値の出所（算出 方法）	実績値				目標値 （延長）		所管課	
				H26	H32	H37		H28	H29	H30	R1	R3	R8		
3. 商工業の振興	10	従業者数（商業統計）	人/年	2,389 (H24)	現状値を維持	現状値を維持	「商業統計調査」または「経済センサス活動調査」（平成28年（経）、令和3年（経）実施予定）※公表は翌々年度以降	2,471	2,334	2,334	2,334	現状値を維持	現状値を維持	ひと・はたらく課	
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】						
		景気低迷、少子高齢化に伴う労働人口の減少の中で増額を見込むことは難しい状況であるが、各施策の取組みにより、現状値の維持を目標とする。							同左						
5. 生活景観の保全	14	耕作放棄田率	%/年	13.6	現状値より減少	現状値より減少	農業委員会が毎年度実施する農地パトロールにおける放棄田面積÷市内農地面積	12.4	8.4	9.12	10.04	現状値より減少	現状値より減少	農業委員会事務局	
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】						
		過疎化や高齢化等により労働力不足が深刻化している状況であるが、農業振興施策の取組みを推進していく中で、現状値以下に抑えることを目標とする。							同左						
8. 上下水道の整備	19	経常収支比率（上水道）	%/年	87.4	100以上	100以上	経常収益÷経常費用	93.8	88.2	89.8	94.1	100以上	100以上	水道管理課	
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】						
		経常収支は年度の条件によって変動するが、この数値が100%以上であれば黒字であるため、100%以上を目標とする。							同左						

## 第2次宍粟市総合計画前期基本計画 1年期間延長資料（まちづくり指標）



← 計画策定当初策定 (H27) →      ← 今回設定 →

基本施策	No.	指標名	単位	策定 現状値	目標値		数値の出所（算出 方法）	実績値				目標値 （延長）		所管課	
				H26	H32	H37		H28	H29	H30	R1	R3	R8		
10. 自然 環境の保 全	24	揖保川水質状況 （BOD値）	mg/ℓ	2.0未満	2.0以下	2.0以下	市が毎年採水検査 する揖保川最南端 の戸原橋における 水質状況	2.0以下	2.0以下	2.0以下	2.0以下	2.0以下	2.0以下	環境課	
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】						
		河川におけるBODの基準値である2.0mg/ℓ以下を維持していくことを目標とする。（環境基準にかかる水域及び地域の指定権限の委任に関する政令により定める該当類型A）							同左						
10. 自然 環境の保 全	25	千種川水質状況 （BOD値）	mg/ℓ	2.0未満	2.0以下	2.0以下	市が毎年採水検査 する千種川最南端 の阿踏橋における 水質状況	2.0以下	2.0以下	2.0以下	2.0以下	2.0以下	2.0以下	環境課	
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】						
		河川におけるBODの基準値である2.0mg/ℓ以下を維持していくことを目標とする。（環境基準にかかる水域及び地域の指定権限の委任に関する政令により定める該当類型A）							同左						
10. 自然 環境の保 全	26	環境教育を実施 した小学校数	校/年	17/17	14/14	全校	担当課保有の管理 台帳	13/13	13/13	12/12	12/12	全校	全校	環境課	
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】						
		環境体験事業として、現在は市内の全小学校が3年生を対象に複数回の環境教育を実施しており、今後も継続して全校での実施を目標とする。（学校規模適正化の取組みにより学校数は減少する見通し）							同左						



## 第2次宍粟市総合計画前期基本計画 1年期間延長資料（まちづくり指標）



← 計画策定当初策定（H27） →      ← 今回設定 →

基本施策	No.	指標名	単位	策定 現状値	目標値		数値の出所（算出 方法）	実績値				目標値 （延長）		所管課	
				H26	H32	H37		H28	H29	H30	R1	R3	R8		
13. 防災体制の充実	31	自主防災マップ・防災台帳作成団体数【累計】	団体	40	155	155	担当課保有の管理台帳	83	119	137	140	155	155	消防防災課	
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】						
		作成に至るまでの打合せや指導等の期間を考慮して、1年あたり20件を目標に、5年間で市内155すべての自主防災組織の作成を目指す。							同左						
14. 消防・救急体制の充実	32	消防団員数	人	1,647	現状値を維持	現状値を維持	年度当初の消防団員数	1,599	1,536	1,483	1,424	R1を維持	R1を維持	消防防災課	
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】						
		過疎化、少子化が進行する社会状況にあるが、まずは消防団員数の減少に歯止めをかけ、現状値を維持していくことを目標とする。							基本的には「現状維持」であるが、R1に消防団定数条例を改正しているため、「R1実績値を維持」を目標とする。 ※定数を1,800人→1,450人に改正						
14. 消防・救急体制の充実	34	普通救命講習受講者数	人/年	461	600	H32より増加	宍粟消防署保有の管理台帳	356	330	355	282	600	R3より増加	消防防災課	
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】						
		これまでの受講者数の実績及び宍粟市年代別人口統計により、受講可能な年齢の人口を算出							同左						
14. 消防・救急体制の充実	35	火災による死者数	人/年	1	0	0	宍粟消防署保有の管理台帳	0	0	0	0	0	0	消防防災課	
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】						
		火災予防の普及啓発により市民の防火意識の向上を図り、住宅火災を減らすとともに火災による死者を0人にすることを目標とする。							同左						

## 第2次宍粟市総合計画前期基本計画 1年期間延長資料（まちづくり指標）



← 計画策定当初策定 (H27) →      ← 今回設定 →

基本施策	No.	指標名	単位	策定 現状値	目標値		数値の出所（算出 方法）	実績値				目標値 (延長)		所管課		
				H26	H32	H37		H28	H29	H30	R1	R3	R8			
16. 子育て支援の推進	39	出生数	人/年	269 (H25)	現状値を維持		276	「兵庫県保健統計（年報）」※公表は翌年度の秋以降	219	222	200	176	現状値を維持	277	地域創生課	
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】							
		子育て支援の取組みを実施していく中で現状の維持に努めながら、宍粟市人口ビジョンの「自然増における目標」をめざすものとする。							同左 ※（R12目標282人-R7目標276人）/5年=1.2人/年							
17. 就学前教育の充実	43	幼稚園・保育所と小学校との連携事業数【延べ】	回/年	405	現状値を維持	現状値を維持		「しそよう幼保・小・中パートナーシップ」における連携事業数	435	453	450	352	現状値を維持	現状値を維持	こども未来課	
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】							
		平成26年度のパートナーシップにおける連携・交流事業数を基準に、現状の取組みを将来にわたり維持していくことを目標とする。							同左							
17. 就学前教育の充実	44	幼稚園・保育所の関係者評価実施率	%/年	69		70.8	83.3	関係者評価を実施した施設数÷全施設数	68	68	62.5	65.2	70.8	83.3	こども未来課	
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】							
		100%を最終の目標とするが、一部の私立認可保育所にあっては自己評価も未実施の施設があり、評価制度についての理解を求めらる中で、順次実施率を上げていきたい。							同左							
17. 就学前教育の充実	45	関係者評価におけるA評価の割合	%/年	72.6		100	100	A評価数÷全項目数	63.9	67.8	64.2	66.0	100	100	こども未来課	
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】							
		幼稚園や保育所の運営が数値だけで評価されるものではないが、ひとつの目指すべき理想として、すべての評価項目がA評価となることを目標とする。							同左							

## 第2次宍粟市総合計画前期基本計画 1年期間延長資料（まちづくり指標）



← 計画策定当初策定（H27） →      ← 今回設定 →

基本施策	No.	指標名	単位	策定 現状値	目標値		数値の出所（算出 方法）	実績値				目標値 （延長）		所管課	
				H26	H32	H37		H28	H29	H30	R1	R3	R8		
18. 学校教育の充実	49	食べよう宍粟のめぐみ（給食用地元食材利用率）	%/年	69	77	77	地元産野菜使用重量 ÷ 全野菜使用重量	68.9	71.5	74.9	73.2	77	77	学校給食センター	
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】						
		安全で安心な食材を今後も継続して確保をしていく必要があり、山崎及び一宮の保冷庫等を活用することにより、利用率の向上を図っていく。							同左						
19. 青少年健全育成の推進	50	青少年育成委員巡回指導回数	回/年	63	現状値を維持	現状値を維持	担当課保有の管理台帳	65	68	63	65	現状値を維持	現状値を維持	学校教育課	
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】						
		夏季や行事の際に重点をおくなど、各校区の育成委員会ごとに実情に応じた巡回が実施されている。いずれの校区とも現状の巡回数程度が適当であり、現状値を維持していくことを目標とする。							同左						
19. 青少年健全育成の推進	52	子ども講座・体験活動受講者数【延べ】	人/年	567	現状値を維持	現状値を維持	担当課保有の管理台帳	602	635	533	518	現状値を維持	現状値を維持	社会教育文化財課	
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】						
		少子化や子どもたちの放課後の過ごし方の変化等もあり、参加者数の増加を見込むことが困難な状況にあるが、引き続き子育て支援等の取組みを実施していく中で、まずは現状を維持していくことを目標とする。							同左						

## 第2次宍粟市総合計画前期基本計画 1年期間延長資料（まちづくり指標）



← 計画策定当初策定 (H27) ————— | ————— 今回設定 ————— →

基本施策	No.	指標名	単位	策定 現状値	目標値		数値の出所（算出 方法）	実績値				目標値 （延長）		所管課
				H26	H32	H37		H28	H29	H30	R1	R3	R8	
20. 健康 づくりの 推進	53	健康寿命	歳	男性： 77.50 女性： 82.62 (H22)	現状値より 増加	H32より増 加	国勢調査人口と介 護認定データに基 づく兵庫県が算定 （平均寿命－日常 生活に制限のある 期間）※国勢調査 データを用いるため 5年に1回算出	-	-	-	-	現状値より 増加	R3より増 加	保健福祉課
				【目標値の考え方】				【目標値（延長）の考え方】						
				日本人の平均寿命は今後も伸びると想定されており、平均寿命の伸びを上回る健康寿命の伸びを目標とする。				同左						
21. 医療 体制の充 実	56	患者紹介率	%/年	44.2	50	55	（紹介患者数＋救 急搬入患者数）÷ 初診患者数	44.6	46.2	46.1	46.0	51	55	総合病院
				【目標値の考え方】				【目標値（延長）の考え方】						
				地域の2次救急を担う病院として、安定した医療の提供を目指し、平成32年度までは概ね1年に2%の向上を目標とする。				同左						
21. 医療 体制の充 実	61	看護師の充足率	%/年	87.1	92	97	宍粟総合病院保有 の管理台帳	87.7	84.7	84.7	81.9	92	97	総合病院
				【目標値の考え方】				【目標値（延長）の考え方】						
				離職率が高い傾向にあるが、奨学金制度や院内託児所、看護師宿舎の活用を図りながら、10年後は97%の充足をめざす。				離職率が高い傾向にあるが、奨学金制度や院内託児所、看護師宿舎の活用を図りながら、97%の充足をめざす。						
23. 障が い福祉の 充実	68	法定健診受診率 （乳幼児・1.6歳 児・3歳児）	%/年	96.4	100	100	担当課保有の管理 台帳	97.4	96.4	98.5	97.5	100	100	障害福祉課
				【目標値の考え方】				【目標値（延長）の考え方】						
				障がい等の早期発見による適切な療育等の実施の必要性から、100%を目標とする。				同左						

## 第2次宍粟市総合計画前期基本計画 1年期間延長資料（まちづくり指標）



← 計画策定当初策定 (H27) →      ← 今回設定 →

基本施策	No.	指標名	単位	策定 現状値	目標値		数値の出所（算出 方法）	実績値				目標値 （延長）		所管課	
				H26	H32	H37		H28	H29	H30	R1	R3	R8		
25. 生涯 学習の推 進	72	生涯学習セン ター登録団体数	団体	70	75	75	担当課保有の管理 台帳	64	62	61	60	75	75	社会教育文 化財課	
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】						
		構成員の高齢化等により登録を辞める団体もあるが、新たな団体の登録に向け、広報・啓発に努めることで、75団体の登録を目標とする。							同左						
27. ス ポーツ活 動の振興	78	スポーツや競技 で全国大会等に 出場する個人ま たは団体数	件/年	36	現状値より 増加	H32より増 加	「宍粟市スポーツ 大会出場奨励金交 付要綱」に基づく 奨励金交付件数	43	48	54	47	R1より増加	R3より増加	市民協働課	
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】						
		過疎化や少子化など、社会的要因により人口減少傾向にあるが、スポーツ活動の取組みを推進することにより、現状値より増加させていく。							同左						

### ③国や県が示す目標値を準用しているもの

← 計画策定当初策定 (H27) →      ← 今回設定 →

基本施策	No.	指標名	単位	策定 現状値	目標値		数値の出所（算出 方法）	実績値				目標値 （延長）		所管課	
				H26	H32	H37		H28	H29	H30	R1	R3	R8		
1. 農業 の振興	4	食料自給率（カ ロリーベース）	%/年	43	44	45	農林水産省 地域食 料自給率試算ソフト 及び統計情報「わが マチ・わがムラ（市 町村データ）」（宍 粟産生産熱量（カロ リー）÷市民供給熱 量（カロリー））	42	39	40	40	44	45	農業振興課	
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】						
		農林水産省「食料・農業・農村基本計画」に準じ設定							同左						

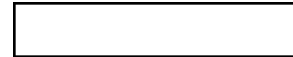
## 第2次宍粟市総合計画前期基本計画 1年期間延長資料（まちづくり指標）



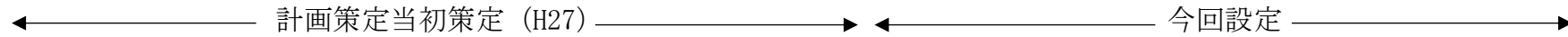
← 計画策定当初策定（H27） →      ← 今回設定 →

基本施策	No.	指標名	単位	策定 現状値	目標値		数値の出所（算出 方法）	実績値				目標値 （延長）		所管課	
				H26	H32	H37		H28	H29	H30	R1	R3	R8		
20. 健康 づくりの 推進	55	特定健診受診率	%/年	37.7 (H25)	60以上	60以上	兵庫県が公表する「特定健診・保健指導等実績（法定報告）」※公表は翌年度の秋以降	41.5	41.7	41.9	40.2	60以上	60以上	保健福祉課	
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】						
		国（厚生労働省）が示す平成30年度の目標数値60%以上を目標とする。							国が示す第3期特定健診の令和5年度までの市町村国保の目標値60%以上を目標とする。						
21. 医療 体制の充 実	62	国民健康保険税 現年課税分収納率	%/年	93.6	92.5以上	財政安定化 支援方針に 定める収納 率	現年分収納額÷現 年分調定額	93.44	93.5	94.19	94.46	94.6	兵庫県国民 健康保険運 営方針で定 める収納率	税務課・債 権管理課	
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】						
		「第2期財政安定化支援方針」において、被保険者数規模別の収納率目標値が設定されており、その数値を目標値とする。（H29まで「92.5%」（一般被保険者分））							兵庫県国民健康保険運営方針において、被保険者規模別の収納率目標値が設定されており、その数値を目標値とする。（R2現在94.60%）						
24. 地域 福祉の充 実	70	就労支援を行っ た生活困窮者の 内、就労に結び ついた者の割合	%/年	—	20.00%	30.00%	就労者累計÷就労 支援対象者累計	22.2	33.3	71.4	71.2	75.0	75.0	社会福祉課	
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】						
		生活困窮者自立支援制度における国の27年度目標値を参考とする。							生活困窮者自立支援制度における国の令和元年度目標値を参考とする。						
29. 男女 共同参画 の推進	82	宍粟市役所にお ける女性管理職 の割合	%/年	6.1	15	15	担当課保有の管理 台帳	14.29	14.84	16.54	14.7	15	15	総務課	
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】						
		第5次男女共同参画兵庫県率先行動計画「ひょうごアクション8」に示された「兵庫県知事部局等の女性管理職比率：H32目標値15%」を参考に、目標を維持していく。							第6次男女共同参画兵庫県率先行動計画「ひょうごアクション8」に示された「兵庫県知事部局等の女性管理職比率：目標値15%」を参考に、目標を維持していく。						

第2次大栗市総合計画前期基本計画 1年期間延長資料（まちづくり指標）



④本市における個別計画の目標値と同じ値とすべきもの（個別計画が改定されているため修正すべきものも含む）



基本施策	No.	指標名	単位	策定 現状値	目標値		数値の出所（算出 方法）	実績値				目標値 (延長)		所管課
				H26	H32	H37		H28	H29	H30	R1	R3	R8	
6. 住環境整備、土地利用の推進	15	住宅整備計画に基づく市営住宅建替え実施率	%	0	55	100	建替え戸数÷住宅整備計画における建替え計画戸数	0	0	27.2	27.2	55	100	都市整備課
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】					
		簡易耐火構造の市営住宅は耐用年数を45年と設定しており、計画的に建替えを進める。							同左					
6. 住環境整備、土地利用の推進	16	地籍調査進捗率	%	62.7	69.8	75.7	調査済面積÷調査対象面積	64.8	65.4	67.5	68.4	70.9	77.2	土地対策課
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】					
		地籍調査実施計画に基づき設定							同左					
9. 公共交通の充実	22	路線バス利用者数（H28以降） 【延べ】	人/年	166,095	200,000	200,000	路線バス運行事業者が実施する「路線バス乗降調査」※公表は翌年度の9月以降	219,071	261,996	276,838	286,163	200,000	200,000	市民協働課
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】					
		平成28年度から新交通システムが運行する予定であり、利用者数を200,000人と見込む。過疎化や少子化など社会的要因により人口減少傾向にあるが、利用促進を図ることで目標を維持していく。							同左					

## 第2次宍粟市総合計画前期基本計画 1年期間延長資料（まちづくり指標）



← 計画策定当初策定 (H27) ————— | ————— 今回設定 ————— →

基本施策	No.	指標名	単位	策定 現状値	目標値		数値の出所（算出 方法）	実績値				目標値 (延長)		所管課
				H26	H32	H37		H28	H29	H30	R1	R3	R8	
11. 資源 循環型社 会の構築	27	市民1人1日あ たりのごみ排出 量	g/日	710	679.4	667.7	(家庭系ごみ+事 業系ごみ) ÷年間 平均の住民基本台 帳人口 ※家庭系ごみ =収集ごみ・資源集 団回収・店頭回収・ 瓦ブロック等	723.2	754.7	802.1	845.3	731.4	667.7	環境課
				【目標値の考え方】				【目標値（延長）の考え方】						
				一般廃棄物処理基本計画で示すH32とH36（最終年度）の予測値を目標とする。				一般廃棄物処理基本計画（中間見直し）で示すR3とR6（最終年 度）の予測値を目標とする。						
11. 資源 循環型社 会の構築	28	ごみ再資源化率	%/年	17.5	33.3	34.2	資源化ごみ（ビン 類・缶類・ペット ボトル・プラ製容 器・紙類・布類・ 焼却灰）排出量 ÷ ごみ総排出量	25.1	25.0	23.7	22.9	33.3	34.2	環境課
				【目標値の考え方】				【目標値（延長）の考え方】						
				一般廃棄物処理基本計画で示すH32とH36（最終年度）の予測値を目標とする。				一般廃棄物処理基本計画（中間見直し）で示すR3とR6（最終年 度）の予測値を目標とする。						
15. 防 犯・交通 安全の推 進	36	交通事故発生件 数	件/年	1,430	1,381	1,183	「交通年鑑」（兵 庫県警察本部）	1,144	1,241	1,083	1,037	995	776	消防防災課
				【目標値の考え方】				【目標値（延長）の考え方】						
				西播磨地域における宍粟市の自動車運転免許保有者数に対する交通事故件数の 割合は5.2%となっている。これを基準に、H32は姫路市を除いた西播磨の平均 値（4.9%）を、H37は西播磨の最低値（4.2%）を目標とする。				市交通安全計画による目標値「R3 995件」にあわせる。 計画上の目標は、5年で22%減であることからR8については、R3 の22%減を目標とする。						



## 第2次宍粟市総合計画前期基本計画 1年期間延長資料（まちづくり指標）



← 計画策定当初策定 (H27) →      ← 今回設定 →

基本施策	No.	指標名	単位	策定 現状値	目標値		数値の出所（算出 方法）	実績値				目標値 （延長）		所管課	
				H26	H32	H37		H28	H29	H30	R1	R3	R8		
17. 就学 前教育の 充実	46	認定こども園再 編実施校区数 【累計】	校区	1	4	7	担当課保有の管理 台帳	1	1	1	2	3	7	こども未来 課	
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】						
		「宍粟市幼保一元化推進計画」に基づき設定							同左						
21. 医療 体制の充 実	59	病院事業経常損 益	億円/ 年	△4.84	△0.49	0.35	病院事業特別会計 決算	▲ 1.15	▲ 1.41	▲ 1.47	0.39	0.59	0.35	総合病院	
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】						
		宍粟総合病院が策定する個別計画に基づき設定							同左						
22. 高齢 者福祉の 充実	65	市民が主体的に 運営する介護予 防教室の登録者 の割合	%/年	4.7	10	10	いきいき百歳体操 教室登録者数÷65 歳以上人口（各年 度末時点）	13.78	14.83	15.26	15.5	17.3	R3より増 加	福祉相談課	
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】						
		65歳以上人口の約1割が効果的な体操を継続的に実践することで、要介護認定率の抑制に効果があることが兵庫県淡路県民局で検証されており、本市においてもその検証結果を参考とする。							同左 2,250人÷12,946人（高齢者福祉計画による目標値÷高齢者福祉計画によるR2の65歳以上人数推計値）						
23. 障が い福祉の 充実	66	福祉施設からの 一般就労者数	人/年	2	4	H32より増 加	担当課保有の管理 台帳	1	1	4	8	2	2	障害福祉課	
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】						
		障害福祉計画では、平成29年度の見込みを4人と定めているが、今後の制度改正等も視野に入れ、平成32年度は4人以上、平成37年度は平成32年度以上を目標とする。							第5期障害福祉計画では、一般就労移行者数について平成28年度実績の1人を令和2年度末時点で2人とする目標をたてている。この間の実績は平成30年度が4人、令和元年度が8人、令和2年度（見込）が1人である。この指標は、社会情勢に大きく左右されると考えられるため、1年間に2人を目標として、計画期間の6年間で12人を見込む。						

## 第2次宍粟市総合計画前期基本計画 1年期間延長資料（まちづくり指標）



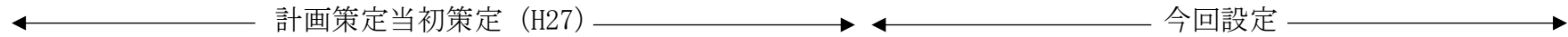
← 計画策定当初策定 (H27) ————— | ————— 今回設定 ————— →

基本施策	No.	指標名	単位	策定 現状値	目標値		数値の出所（算出 方法）	実績値				目標値 (延長)		所管課
				H26	H32	H37		H28	H29	H30	R1	R3	R8	
23. 障がい福祉の充実	67	グループホーム等利用者数	人/年	28	40	45	担当課保有の管理台帳	31	36	36	41	41	46	障害福祉課
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】					
		障害福祉計画では、平成29年度の見込みを35人と定めているが、平成32年度は事業所が1つ増加することを見込んで5人増の40人とし、平成37年度はさらに1事業所増を見込んで45人とする。							令和元年度の実績値を基準とし、令和8年度までに1事業所の開設（5名の利用）を見込んで、46人を目標とする。					
27. スポーツ活動の振興	79	地域の観光資源を活用したスポーツイベント参加者数（音水湖カヌー利用者数）【延べ】	人/年	7,469	10,000	H32より増加	担当課保有の管理台帳	7,868	10,455	9,027	11,743	10,000	R3より増加	市民協働課
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】					
		「兵庫県地域創生戦略」及び「宍粟市地域創生総合戦略」との整合を図る。							同左					
29. 男女共同参画の推進	81	審議会・委員会などの女性委員の割合	%/年	30.6	35	35	担当課保有の管理台帳	30.1	30.5	32.5	34.5	36.3	38.8	人権推進課
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】					
		「宍粟市審議会等委員への女性登用促進要綱」（平成25年7月1日施行）に基づき設定							改正後の「宍粟市審議会等委員への女性登用促進要綱」に基づき設定					

第2次大栗市総合計画前期基本計画 1年期間延長資料（まちづくり指標）



⑤【目標達成済】1年間に〇%、〇件など増加させる数値が固定されているもの



基本施策	No.	指標名	単位	策定 現状値	目標値		数値の出所（算出 方法）	実績値				目標値 (延長)		所管課
				H26	H32	H37		H28	H29	H30	R1	R3	R8	
7. 道路 網の整備	17	道路改良率	%	59.6	60.2	60.7	改良済の市道延長 ÷市道総延長	60.1	60.4	60.5	60.6	60.8	61.3	建設課
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】					
		道路網の整備は今後も継続して実施していく必要があるが、限りある財源の中で真に必要な整備を慎重かつ効果的に取り組むことを基本に、1年あたり0.1%の増加を目標とする。							すでに目標達成済であるため、令和元年度実績に左記の増加率（1年あたり0.1%の増加）を加味したものをR3及びR8の目標値とする。					
8. 上下 水道の整備	20	下水道接続率	%/年	92.6	93.8	95	下水道使用人口÷ 処理区域内人口	93.1	93.4	94.7	94.9	95.3	96.3	水道管理課
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】					
		最終的な目標は100%であるが、高齢者世帯の増加や低所得世帯などの経済的 事情も勘案し、平成37年度の目標値を95%とし、年間0.2%の増を目標とす る。							すでに目標達成済であるため、令和元年度実績に左記の増加率 （1年あたり0.2%の増加）を加味したものをR3及びR8の目標値 とする。					
13. 防災 体制の充 実	30	ひょうご防災 ネットの加入者 数【累計】	人	3,272	4,500	6,000	ひょうご防災ネッ トサポートセン ター（株式会社ラ ジオ関西）の集計 値	4,671	4,961	5,386	5,461	6,100	7,600	消防防災課
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】					
		過去3年間の加入数の推移から、1年あたり約300件の加入数を目標とする。							すでに目標達成済であるため、令和元年度実績に左記の増加率 （1年あたり300件の増加）を加味したものをR3及びR8の目標値 とする。					

## 第2次宍粟市総合計画前期基本計画 1年期間延長資料（まちづくり指標）



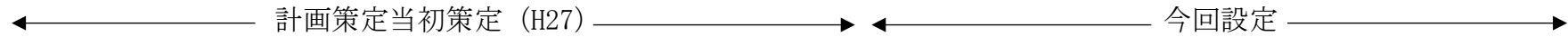
← 計画策定当初策定 (H27) ————— → ← 今回設定 ————— →

基本施策	No.	指標名	単位	策定 現状値	目標値		数値の出所（算出 方法）	実績値				目標値 （延長）		所管課	
				H26	H32	H37		H28	H29	H30	R1	R3	R8		
15. 防 犯・交通 安全の推 進	38	消費者相談による 契約被害防止率	%/年	17.1	20.1	22.6	未然防止件数÷契 約件数	30.6	35.9	39.1	31.3	40.6	43.1	人権推進課	
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】						
		啓発や情報提供を行いながら効果的に取組むことにより、現状値を基準に1年あたり0.5%の増加を目標とする。							すでに目標達成済であるため、最も高かった平成30年度実績に左記の増加率（1年あたり0.5%の増加）を加味したものをR3及びR8の目標値とする。						
25. 生涯 学習の推 進	71	しそく学びパス ポート所持者数 【累計】	人	180	210	235	担当課保有の管理 台帳	192	207	212	229	239	264	社会教育文 化財課	
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】						
		参加者が固定化している現状にあるが、講座内容の工夫など検討を行い、現状値を基準に1年あたり5人の増加を目標とする。							すでに目標達成済であるため、令和元年度実績に左記の増加率（1年あたり5人の増加）を加味したものをR3及びR8の目標値とする。						

第2次宍粟市総合計画前期基本計画 1年期間延長資料（まちづくり指標）



⑥【目標達成済】1年間に〇ずつなどではなく、〇%・現状値より増加などと設定しているもの



基本施策	No.	指標名	単位	策定 現状値	目標値		数値の出所（算出 方法）	実績値				目標値 (延長)		所管課
				H26	H32	H37		H28	H29	H30	R1	R3	R8	
12. 再生 可能エネ ルギーの 活用	29	再生可能エネ ルギー自給率	%/年	28.8 (H25)	44.3	57.1	「エコしろうアク ションプラン 2011」で参考とし ている、千葉大学 倉阪研究室とNPO法 人環境エネルギー 政策研究所が毎年 発表する「永続地 帯報告書」の数値※ 公表は翌々年度以降	41.4	47.9	56.0	62.8	76.4	100.0	環境課
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】					
		エコしろうアクションプラン2011で定める2030（H42）年の目標値70%を基準に、宍粟市スマートコミュニティ化ロードマップで示す永続地帯化プランの試算値を参考に算出。							すでに目標達成済であるため、令和元年度実績に最低でも過去の伸び率を達成することを加味した数値を目標とする。					
14. 消 防・救急 体制の充 実	33	応急手当講習受 講者数【延べ】	人/年	1,781	1,800	H32より増 加	宍粟消防署保有の 管理台帳	1,039	2,000	2,387	2,719	R1より増 加	R3より増 加	消防防災課
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】					
		これまでの受講者数の実績及び宍粟市年代別人口統計により、受講可能な年齢の人口を算出							主な受講者（学校、PTA、事業所、自治会等）の受講数増加及びそれ以外への啓発により、現状より増加することを目的とする。					

## 第2次宍粟市総合計画前期基本計画 1年期間延長資料（まちづくり指標）



← 計画策定当初策定 (H27) →      ← 今回設定 →

基本施策	No.	指標名	単位	策定 現状値	目標値		数値の出所（算出 方法）	実績値				目標値 （延長）		所管課	
				H26	H32	H37		H28	H29	H30	R1	R3	R8		
15. 防 犯・交通 安全の推 進	37	刑法犯罪認知件 数	件/年	221	199	177	「兵庫県警察統 計」	182	176	149	159	152	137	消防防災課	
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】						
		現状値を基準に、H32年度10%減、H37年度20%減の目標とする。							5年で10%減の目標設定であるため、R3については、R1の4%減、R8については、R3の10%減の目標とする。						
16. 子育 て支援の 推進	40	この地域で子育て をしたいと思 う親の割合	%/年	91.1	93	H32より増 加	国（厚生労働省）が 策定する母子保健の 国民運動計画「健や か親子21」に基づ き、「乳児・1歳6ヶ 月・3歳児健診」の際 にアンケート調査を 実施	96.2	97.4	97.4	95.8	R1より増 加	R3より増 加	保健福祉課	
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】						
		現在のところ市独自のデータがないため、公表されている全国ベースライン数 値を現状値とし、目標値は全国の目標と同じ数値とする。							すでに目標達成済であるため、「R1実績値より増加」させること をR3及びR8の目標値とする。						
18. 学校 教育の充 実	48	将来、自主的に 運動したいと考 えている児童・ 生徒の割合	%/年	58.8	61	63	「全国体力・運動 能力調査」におい て、「将来（小学 生では中学校で授 業以外に、中学校 では卒業後）、自 主的に運動した い」と回答した児 童・生徒の割合	69	71	71.1	77.8	71.3	71.4	学校教育課	
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】						
		全国平均値（63.4%）と比較すると、現状では宍粟市はかなり低い率なので、 10年間をかけて全国平均値をめざす。							全国平均値（71.2%）と比較すると、宍粟市の現状はかなりの高 い率である。全国平均値を上回る値の維持をめざす。						

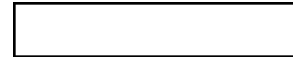
## 第2次宍粟市総合計画前期基本計画 1年期間延長資料（まちづくり指標）



← 計画策定当初策定 (H27) →      ← 今回設定 →

基本施策	No.	指標名	単位	策定 現状値	目標値		数値の出所（算出 方法）	実績値				目標値 （延長）		所管課
				H26	H32	H37		H28	H29	H30	R1	R3	R8	
19. 青少年健全育成の推進	51	登下校指導ボランティア数【累計】	人	1,901	現状値を維持	現状値を維持	担当課保有の管理台帳	1,950	1,860	1,800	1,966	現状値を維持	現状値を維持	学校教育課
		【目標値の考え方】 少子高齢化や過疎化、学校規模適正化による学校数の減少など、年々人数が減少している傾向にあるが、それぞれの地域で工夫しながら実施されており、現状値を維持していくことを目標とする。							【目標値（延長）の考え方】 同左					
20. 健康づくりの推進	54	3大生活習慣病による死亡者の割合	%/年	56.7 (H25)	現状値より減少	H32より減少	「兵庫県保健統計（年報）」3大生活習慣病死亡者数÷死亡者総数 ※公表は翌年度の秋以降	49.9	52.2	54.0	53.5	現状値より減少	R3より減少	保健福祉課
		【目標値の考え方】 健康づくりに関する各施策を効果的に取り組むことにより、減少させることを目標とする。							【目標値（延長）の考え方】 同左					
21. 医療体制の充実	60	常勤医師の充足率	%/年	76		80	宍粟総合病院保有の管理台帳	72	72	92	92	100	100	総合病院
		【目標値の考え方】 退職される医師の補充も踏まえ、10年後は84%の充足をめざす。							【目標値（延長）の考え方】 退職される医師の補充も踏まえ100%の充足をめざす。					

## 第2次宍粟市総合計画前期基本計画 1年期間延長資料（まちづくり指標）

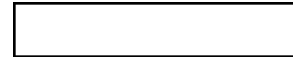


← 計画策定当初策定（H27） →      ← 今回設定 →

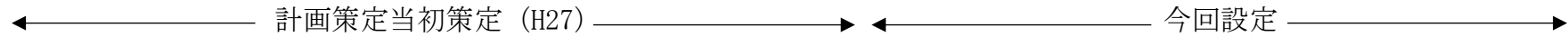
基本施策	No.	指標名	単位	策定 現状値	目標値		数値の出所（算出 方法）	実績値				目標値 （延長）		所管課
				H26	H32	H37		H28	H29	H30	R1	R3	R8	
22. 高齢者福祉の充実	63	65歳以上の高齢者が、見守りが必要な高齢者を支援している割合	% / 年	11.2 (H25)	12.2～ 13.2	13.2～ 14.2	65歳以上で見守りが必要な高齢者を支援する活動をしている人÷65歳以上の高齢者（要介護4～5を除く）※老人福祉計画及び介護保険事業計画の策定に際し、3年に1回実施しているアンケート調査による回答結果	11.2	9.6	9.6	9.6	18.0	22.2	高年福祉課
				【目標値の考え方】				【目標値（延長）の考え方】						
				団塊の世代が75歳以上となる平成37年（2025年）を見据え、地域の実情にあった「地域包括ケアシステム」の構築が重要であることから、増加の目標とする。				団塊の世代が75歳以上となる令和7年（2025年）を見据え、地域の実情にあった「地域包括ケアシステム」の構築が重要であることから、着実に割合が高くなることを目標とする。						
25. 生涯学習の推進	73	市民1人あたりの図書貸出冊数	冊 / 年	2.7	3	3	年間貸出冊数÷住民基本台帳人口	2.6	3.09	3.46	3.44	3.5	3.7	社会教育文化財課
				【目標値の考え方】				【目標値（延長）の考え方】						
				人口の減少により大幅な増加は難しいが、市民への啓発及び利用者サービスの向上に <b>取り組む</b> ことにより、1人あたり3冊の貸出を目標とする。				同左						



第2次宍粟市総合計画前期基本計画 1年期間延長資料（まちづくり指標）



⑦【現時点目標達成】目標は達成しているが一時的な達成等であるため、目標値を現行どおり、または策定当初の考え方により数値変更としたもの



基本施策	No.	指標名	単位	策定 現状値	目標値		数値の出所（算出 方法）	実績値				目標値 （延長）		所管課
				H26	H32	H37		H28	H29	H30	R1	R3	R8	
8. 上下 水道の整備	21	料金回収率（下水道）	%/年	51.5	54.5	57	料金収益÷（営業 費用+営業外費 用）	51.5	52.7	53.3	55.7	55.0	57.5	水道管理課
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】					
		数値が高いほど料金回収率が良好であるが、下水道整備時に要した費用の起債償還金利息も高いため、1年あたり0.5%の増を目標とする。							同左					
16. 子育て支援の 推進	42	学童保育利用者数	人/年	263	330	330	年度当初の登録者数	344	358	361	366	330	330	こども未来課
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】					
		これまでの実績から、未開設校区の利用増加及び将来予測を見込んで設定。							少子化により児童数が減少する中で、これまでの実績から保護者の保育ニーズ増加を見込んで目標値を設定。					

## 第2次宍粟市総合計画前期基本計画 1年期間延長資料（まちづくり指標）



← 計画策定当初策定（H27） →      ← 今回設定 →

基本施策	No.	指標名	単位	策定 現状値	目標値		数値の出所（算出 方法）	実績値				目標値 （延長）		所管課
				H26	H32	H37		H28	H29	H30	R1	R3	R8	
18. 学校教育の充実	47	国語及び算数（数学）の授業の内容がよく分かる児童生徒の割合	% / 年	81.2	82	83	「全国学力・学習状況調査」において、「国語の授業の内容はよく分かりますか」「算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか」という質問に、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した児童（小学校5年生）・生徒（中学校2年生）の割合	82.5	80.6	80.8	85.8	82.2	83.2	学校教育課
				【目標値の考え方】				【目標値（延長）の考え方】						
				全国平均値（75.9%）と比較すると、宍粟市は現状でもかなりの高い率であることも考慮し、現状維持を前提に5年間で1%程度の上昇をめざす。				全国平均値（79.9%）と比較すると、宍粟市の現状はかなりの高い率である。全国平均値を上回る値の維持をめざす。						
21. 医療体制の充実	58	病床利用率	% / 年	66.4	71.9	76	1日当たり平均入院患者数÷病床数	70	66.1	64.6	77.6	82	87	総合病院
				【目標値の考え方】				【目標値（延長）の考え方】						
				市内唯一の総合病院として安定した医療を提供するためには、財政状況の健全化が不可欠であり、概ね1年あたり1%の向上を目標とする。				病床数の変更に伴い当時の積算を基にR3及びR8の目標値を再計算している。						

## 第2次宍粟市総合計画前期基本計画 1年期間延長資料（まちづくり指標）



← 計画策定当初策定 (H27) →      ← 今回設定 →

基本施策	No.	指標名	単位	策定 現状値	目標値		数値の出所（算出 方法）	実績値				目標値 （延長）		所管課	
				H26	H32	H37		H28	H29	H30	R1	R3	R8		
27. ス ポーツ活 動の振興	77	スポーツ施設利 用者数【延べ】	人/年	152,350	現状値より 増加	H32より増 加	山崎スポーツセン ター、スポニック パークー宮、波賀 総合スポーツ公 園、波賀B&G海 洋センター、千種 B&G海洋セン ターの利用者数	150,964	149,084	145,687	152,840	現状値より 増加	R3より増加	市民協働課	
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】						
		過疎化や少子化など、社会的要因により人口減少傾向にあるが、施設の利活用を推進することにより、現状値より増加させていく。							同左						
28. 人権 教育・啓 発の振興	80	人権学習会等の 実施回数	回/年	167		173	178	担当課保有の管理 台帳	171	167	174	165	174	179	市民協働課
		【目標値の考え方】							【目標値（延長）の考え方】						
		人権学習会等の実施母体は各自治会における学習会となっている。今後、自治会の数が増加するといった見込みはないため大幅な増加は難しく、現状値を参考に1年間あたり1回の増加を目標とする。							同左						